

日本航空株式会社



取組内容

- ・7月9日（月）～8月10日（金）を対象に、時差出勤（8時前、もしくは10時以降に出勤）、テレワーク、ワーケーションの実施を推奨。
- ・共用エリア前に始めの2週間限定で7時15分から8時までの間、臨時のカフェを開設し、数量限定でコーヒー、バナナ、栄養補助食品を無料で提供。



社内推進体制

- ・人財戦略部、総務部、施設部、IT運営企画部、関連会社（※）が連携（※障がいを持つ社員が羽田・成田の社内施設で運営しているKilatto cafeに委託）

運用上の工夫

- ・臨時のカフェの実施に併せて全エレベータホールに時差Biz推進のポスターを設置。
- ・時差出勤、テレワーク、ワーケーションを推奨する全組織宛の周知を実施。
- ・2018年4月より、テレワーク規程を改定し週1回としていた上限を2回とし、既に導入しているフレックス制度のコアタイム廃止、時間単位年休を導入した。

効果・実績

- ・7月9日（月）から8月10日（金）の実施期間において、時差出勤（8時前、もしくは10時以降の出勤）、もしくはテレワークやワーケーションなどの実施により、1日以上、混雑時間帯を避け勤務をした社員は日本航空単体で約1,530人となり、対象者全体の約72%となった。（前年は約50%）
- ・テレワーク、ワーケーションの実施者数は年々倍増しているが、本年度も時差Bizの取り組みもあり、昨年度を上回る実施数で推移している。

冬季の集中取組期間に向けて

- ・雪害等の大規模災害が発生した時の対応を見据え、時差出勤やテレワーク勤務を部門毎に一斉に実施する取り組みを予定。
- ・今後も柔軟なワークスタイルの推進に向け、時差出勤、テレワーク、ワーケーションの推進に努める。